

様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成23年度】

(①歴史・文化施設)

1 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	24	施設名	掛川市生涯学習センター		担当課名	社会教育課	
		区分	内容・説明				
1	施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市生涯学習センター設置条例				
		(2)施設設置目的	東遠地域住民の教育文化の向上並びに郷土を担う人材養成を通じた特色ある地域文化の育成及び創造を図るため				
		(3)施設が有する設備、機能の概要	ホール(固定645席、移動424席)、会議室4室(16人、43人、43人、144人収容)、和室(40人)、料理室(25人)、工作室(30人)、リハーサル室、準備室3室、催物広場(706.50㎡)				
		(4)施設建設年度	昭和58年度				
		(5)耐震性能の有無	あり				
		(6)将来予想される改修経費	雨漏り改修				
		(7)指定管理者名	公益財団法人掛川市生涯学習振興公社				
		(8)指定期間	平成23年4月1日 から 平成28年3月31日 まで				
		(9)施設の管理運営形態	③指定管理料+利用料金併用制度				
		(10)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(H23年度事業費 - 千円) 公社一本化事業のためシオーネに計上				
		(11)指定事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(H23年度事業費 - 千円) 公社一本化事業のためシオーネに計上				
		(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし				
		(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 23 年度)				
		区分	H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考
2	施設・設備ごと)	(1)施設利用者数	204,294	194,663	165,215		
		ホール	86,849	84,736	66,411		
		リハーサル室	5,729	8,850	4,436		
		第1会議室	3,998	8,350	5,234		
		第2会議室	9,286	9,487	9,178		
		第3会議室	6,951	6,596	7,914		
		第4会議室	23,920	19,629	22,353		
		料理室	1,758	1,469	1,346		
		和室	4,995	6,136	5,211		

	工作室	4,044	4,005	5,096			
	催物広場	44,599	36,005	29,526			
	ギャラリー	12,165	9,400	8,510			
	区分	H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費	201	221	246			
	(3)運営日数	359	359	360	359		
	(4)運営人員	①正規職員	4	4	5	5	
		②臨時職員	4	3	2	2	

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	34,931,470	37,402,280	34,820,256	38,549,000	
	②印刷費	443,940	69,615	66,045	300,000	
	③通信費	535,237	516,394	487,933	595,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	19,680	15,100	21,635	50,000	
	⑤借上料	2,328,489	2,161,117	2,281,543	2,660,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	2,495,310	2,559,136	2,845,693	1,910,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	232,741	201,159	110,652	140,000	
	計	40,986,867	42,924,801	40,633,757	44,204,000	
	対前年度増減率			4.7	△ 5.3	8.8
区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	41,702,690	41,884,707	37,981,648	38,877,000	
	消防設備保守点検	1,128,750	1,113,000	957,600	958,000	
	警備保障業務	491,400	476,280	476,280	477,000	
	電気工作物保守点検	824,460	781,410	480,060	481,000	
	空調設備保守点検	2,205,000	2,205,000	2,152,500	2,153,000	
	館内清掃業務	5,640,000	5,700,000	5,160,000	5,160,000	
	舞台操作管理業務	23,240,700	23,410,800	20,893,950	21,773,000	
	その他	8,172,380	8,198,217	7,861,258	7,875,000	

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考	
(2)施設コスト(B)	②修繕費	5,990,046	3,796,039	3,260,911	3,000,000	
	③光熱水費	15,412,559	16,404,968	15,904,195	16,280,000	
	④燃料費	124,168	147,522	172,930	200,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	2,838,190	2,152,309	2,226,554	1,339,000	
	計	66,067,653	64,385,545	59,546,238	59,696,000	
	対前年度増減率		△ 2.5	△ 7.5	0.3	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)	107,054,520	107,310,346	100,179,995	103,900,000		
(4)合計のうち運営コストの割合	38.3	40.0	40.6	42.5		
(5)施設の収入 ※1)下記3)に入力する	26,441,965	25,684,540	24,279,305			
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	64.5	59.8	59.8			

3 施設管理料又は歳入情報 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設使用料収入	26,441,965	25,684,540		※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	104,692,000	104,884,000		
a)-b)	△ 78,250,035	△ 79,199,460	0	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設利用料金収入			24,279,305	
b) 指定管理料			81,500,000	
c) 指定事業収入			-	公社一本化事業のためシオーネに計上
d) 自主事業収入			-	公社一本化事業のためシオーネに計上
e) その他収入			-	公社一本化事業のためシオーネに計上
合計	0	0	105,779,305	

4 施設の評価

評価内容	評価のポイント	H23年度の結果	今後の改善策
(1) 施設設置目的の達成度	①施設設置目的に沿った運営が行われているか ②住民サービスの向上が図られているか ③施設設置目的の達成に貢献するような運営がなされているか	「教育文化を高揚し、特色ある地域文化を育成、創造する。」という設置目的を十分に理解した運営が行われている。生涯学びたい、活動したいという市民の意識をとりこみ、学習センターを中心に語学や趣味のグループが集まってきている。また、市民活動グループも活発に会議室等を利用し、常時、利用者の出入りが見られる。 指定事業においては、文化催事のほか、市民の自主活動の助成、発表の場の提供など幅広く行っている。	施設管理運営上の問題点は特に見られない。企画実行委員会の他に無償ボランティアの輪を広げ、ボランティア制度を確立し、市民との協働を進めて、より多くの芸術に触れる機会を提供していく。 生涯学習の場として施設、人材を含め、その機能を発揮できるような施設運営を目指していく。
(2) 利用者満足度	①利用者満足度調査(アンケート)を実施し、結果の検討をしているか ②利用者数は増えているか ③特定地域の住民や特定団体だけでなく、広く市民に利用されているか	利用者の推移は、H18:190,374人、H19:183,368人、H20:183,291人、H21:204,294人、H22:194,663人、H23:165,215人となっている。H23は東北大震災の関係から減少となったが、順調な利用者数である。利用者満足度調査によると月に数回利用している人たちが60%を超え、職員の対応も良く、1年前からの予約が可能であるなど利用のし易さなど満足度は高い。	施設の老朽化、設備及び機材の更新が必要だが、すぐには困難なため、それを補う充実したサービスで対応する。 また、自主事業についても、より事業効果を高めるため指標等の設定をするなどして文化振興を図りたい。
(3) 効率的な運営	①管理運営費の算出根拠は妥当か ②管理運営費の削減は図られているか ③収支バランスは改善されているか ④利用料金制度の導入又は民間等への移行を検討しているか ※「利用料金制度」とは、条例で定める施設の利用料金の範囲内で、指定管理者の収入として收受させることができる制度。	施設管理に係る委託業務の見直しや複数施設の一元委託などにより経費の削減を図っている。 利用料金制度の採用により、より明確な収支実績が反映されることとなり、市民ニーズに則した運営を進めている。	施設設備、人員配置など効率化が図られ経費が削減されても施設の安全、安心を確保することができるように徹底した点検を図りたい。定期的な職員の点検等により修繕費の抑制をしていく。
(4) 施設の将来性及び統廃合の可否	①今後も市民ニーズに応えられ、高い費用対効果が見込めるか ②市内の類似施設との統廃合により機能等の集約は可能か	利用料金制度により、市民ニーズを把握した運営が更に求められることとなり、今後も市内の生涯学習の拠点として重要な施設であることは変わらない。	現状に満足せず、今後も市民ニーズの把握、トレンドの把握を行い、自主事業等へ反映させていく。
(5) その他の課題等	①指定管理者の収入を増やすための工夫が行われているか ②設備の維持管理等に関して問題はないか	大きな催物があると、駐車場の関係で会議室の貸し出しを止めざるを得ない状況が続いている。 昭和58年の建物であり、改修すべき箇所が多く、今後も同様な状況であることは変わらないと考えられる。	駐車場の確保については、長期的な計画が必要なため検討したい。 改修箇所については、中長期の改修計画を策定し、効率的に進めていくこととした。

5 その他自由意見